2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基本技術Ⅲ(ヘルスアセスメントⅠ)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	202・203. 実習室
担 当 教 員	柏原　弘子	実務経験とその関連資格	看護師 病院,施設等で19年勤務			

《科目目標》

① 対象者の健康状態を把握するために必要なヘルスアセスメントおよびフィジカルアセスメント技術を理解する
② 事例を通して、バイタルサイン測定が実践できる。
③ フィジカルアセスメント(呼吸、循、消化器、筋・関節)を実践する

《成績評価の方法と基準》

【評価方法】課題・授業態度10%、ロールプレイ発表15%、理解度テスト10%、終講試験65%の総合評価でする。
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満

《使用教材(教科書)及び参考図書》

ナーシング・グラフィカ　基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰメディカ出版
1巻　解剖生理
7巻　呼吸機能障害/循環機能障害
EX1巻　呼吸器
EX2巻　循環器

《授業外における学習方法》

①事前・事後学習を行い授業に出席する。事前課題は必須。
②指示している動画を視聴して出席する
③バイタルサイン測定の基本技術を習得するよう練習する。

《履修に当たっての留意点》

①提出物は、クラス単位で回収し指定された時間を守り提出する
②グループワークや意見交換は時間を有効に積極的に行う
③ロールプレイ発表は、全員で役割を担い発表する
④言える、書ける、行動できるよう主体的学習姿勢で臨む

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインとは	教科書 グループワーク	課題の実施
		各コマにおける授業予定	体温維持に関する基礎知識、体温測定の方法 体温の生理的変動因子、体温の測定値と異常 体温上昇時に観察すべき点		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインとは	教科書 グループワーク	課題の実施
		各コマにおける授業予定	呼吸と脈拍に関する基礎知識、呼吸と脈拍の測定方法 呼吸と脈拍の測定値の生理的変動因子 呼吸と脈拍の測定値と異常		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインとは	教科書 グループワーク	課題の実施
		各コマにおける授業予定	血圧に関する基礎 聴診法・触診法それぞれの血圧測定の原理 血圧の測定値の生理的変動因子 血圧の異常		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインの測定の実践(技術確認)	教科書 ジャージ上下 ナースシューズ 聴診器 血圧計	VS測定手順作成 演習記録でリフレクション
		各コマにおける授業予定	バイタルサイン測定の測定用具(体温計、ストップウオッチ、聴診器、血圧計)の点検と準備 体温、脈拍、呼吸の測定方法と留意点、血圧の測定方法(触診法と聴診法)		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインの測定の実践(技術確認)	GW 教科書 ジャージ上下 ナースシューズ 聴診器 血圧計	VS測定手順作成 演習記録でリフレクション
		各コマにおける授業予定	バイタルサイン測定の測定用具(体温計、ストップウオッチ、聴診器、血圧計)の点検と準備 体温、脈拍、呼吸の測定方法と留意点、血圧の測定方法(触診法と聴診法)		

第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	フィジカルアセスメントの実際 肺炎事例を通して観察の視点を考えよう	教科書 GW	課題の実施
		各コマにおける授業予定	1. 事例Cさん肺炎患者の事例の共通理解 2. 観察技術をグループで調べ学習 ① 視診・触診・打診・問診・聴診 ② 呼吸音聴取 、心音聴取 、腸蠕動音と腹部の観察 ③ パルスオキシメータ測定、チアノゼ・ばち状指観察 ④ 意識の観察（ GCSGCS 、JCSJCS ）瞳孔、対抗反射 ⑤ BRS 、MMT 、バレー徴候 ⑥ 深部静脈血栓症、浮腫の観察 ⑦ 脱水（ツルゴー）、眼瞼結膜の観察		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	フィジカルアセスメントの実際 肺炎事例を通して観察の視点を考えよう	教科書 GW	ロールプレイ発表資料作成
		各コマにおける授業予定	各グループで担当の観察技術の調べ学習		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	フィジカルアセスメントの実際 肺炎事例を通して観察の視点を考えよう	教科書 ジャージ上下 ナースシューズ	ロールプレイ発表資料作成
		各コマにおける授業予定	各グループで担当の観察技術のロールプレイ準備		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	フィジカルアセスメントの実際 肺炎事例を通して観察の視点を考えよう	教科書 ジャージ上下 ナースシューズ	課題の実施
		各コマにおける授業予定	各グループで担当の観察技術のロールプレイ発表		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例患者のフィジカルアセスメントの実際	教科書 ジャージ上下 ナースシューズ	
		各コマにおける授業予定	・ 呼吸音聴取 、SPO2、ばち状指、チアノーゼ ・心音聴取 、眼瞼結膜、浮腫、脱水（ツルゴー） ・腸蠕動音、腹部の観察 ・深部静脈血栓腸蠕動音と腹部の観察 ・ 意識の観察（ GCSGCS 、JCSJCS ）瞳孔、対抗反射 ・麻痺の観察（ BRS 、MMT） バレー徴候 ・深部静脈血栓症、		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例患者のフィジカルアセスメントの実際	教科書 グループワーク	課題の実施
		各コマにおける授業予定	事例患者に必要な援助計画の立案		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例患者のフィジカルアセスメントの実際	教科書 ジャージ上下 ナースシューズ	演習記録でリフレクション
		各コマにおける授業予定	事例患者に必要な援助計画を基に実践		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例患者のフィジカルアセスメントの実際	教科書 GW	課題の実施
		各コマにおける授業予定	事例患者に必要な援助計画を基に実践したことを援助計画で評価 観察点と報告を考える		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	基礎看護学の出題基準を把握する	小テスト 教科書 GW	課題の実施
		各コマにおける授業予定	①基礎看護学全般の国家試験問題の傾向の理解 ②基礎看護学の出題基準からわからない言葉をしる ③小テストで自己の理解度を把握し、調べ学習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・終講試験		
		各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験		